



(公財)水道技術研究センター  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-8-1  
虎ノ門電気ビル 2 F  
TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215  
E-mail [jwrchot@jwrc-net.or.jp](mailto:jwrchot@jwrc-net.or.jp)  
URL <http://www.jwrc-net.or.jp>

## 研究課題公表による実証研究の公募（A-I D E A） — 水道が抱える課題解決に向けて —

### (はじめに)

水道をとりまく環境は大きく変化し、人口減少、施設老朽化、自然災害への対応に加えて、地球環境保全への配慮も水道事業者や企業にとってますます重要になっています。一方、新技術や新素材の開発により、飛躍的に水処理性能や運転エネルギー効率が良くなる、あるいは、測定できなかった水中微生物や化学物質が計測できるようになる、など革新的な技術が次々と生まれています。情報通信技術（ICT）の進展は止まるところがないように見えます。解くべき課題は分離できず、個別の対応では不十分となります。水道界には、水道事業者、民間企業、行政、学界、非営利活動団体など、実に多くの関係者がいます。これらの関係者が協働し、公益的社会システムとしての水道に対する社会の認識を高め、水道をより高度な信頼性を持つシステムに高めなければなりません。

その具現化の一環として、水道技術研究センターは、水道事業者が抱える課題の解決につながる民間企業の新技術や新素材の検討、開発を支援することとし、水道事業者のフィールドで実証を行う必要がある研究を公募します。

### 1. 平成 28 年度公募概要

#### 1. 平成 28 年度公募概要

##### (1) 公募する実証研究

水道事業における配水管網内の水質管理の高度化に資する技術開発に関する研究かつ実フィールドでの実証を必要とする研究

##### (2) 目的

人口減少に伴う水需要の減少によって配水管内の滞留時間が増え、水質の劣化が懸念されます。また、全国の配水管の更新は遅れ、老朽化が進行しており、配水管網内の水質環境が劣化する傾向にあります。現在、配水管網内の水質管理の実務としては、残留塩素濃度の定点常時監視や水運用管理に加えて、定期的な管内洗浄などが行われていますが、今後の技術職員の減少に伴い、作業の担い手が不足することが懸念されます。これらの課題に対応すべく、配水管網内の水質管理の高度化に資する技術開発を目指すものです。

## 2. 研究期間

平成 29 年 4 月下旬から平成 31 年 3 月末日まで（実フィールドでの実証を原則 1 年程度実施する）

## 3. 実証研究の方法

- (1) 実証研究者は、水道事業者が提供する実証フィールドで実証研究を行います。
- (2) 水道技術研究センターは、実証フィールドの確保に当たり、必要に応じて実証研究者と水道事業者との間を調整します。
- (3) 水道技術研究センターは、学識経験者等で構成する実証研究支援委員会を設置・開催します。
- (4) 実証研究支援委員会は、実証研究に関して指導・助言を行います。なお、指導・助言に当たり、委員会が実証研究者による説明や説明資料の提出、実地調査、実験の実施等を求めることがあります。
- (5) 委員会は、実証研究者の報告に基づき、実証研究の成果を確認します。
- (6) 水道技術研究センターは、実証研究の成果を確認した内容を記載した成果確認書を発行するとともに、センターのウェブページへの掲載及びセンター会員向け機関誌に概要を掲載します。

## 4. 実証研究に係る費用

- (1) 研究支援に関して水道技術研究センターに支払う費用は、「公募型実証研究に関する規程」及び「公募型実証研究に係る受付審査料等に関する細目」によります（受付審査料、研究支援料、成果確認書発行料、実地調査に係る委員の旅費等）。
- (2) 実証研究に要する一切の費用は、実証研究者が負担するものとします。

## 5. 応募資格

実証研究者は、次の条件に該当する者としてします。なお、受け付け後に該当していないことが判明した場合は、研究支援を中止し、又は成果確認を取り消します。

- (1) 日本国内に本社・支社を有する者であること
- (2) 東京都暴力団排除条例（平成 23 年 3 月東京都条例第 54 号）第 2 条第 4 号に規定する暴力団関係者でないこと

## 6. 応募方法

- (1) 提出書類  
実証研究の支援を希望する者は、実証研究支援依頼書及び実証研究概要説明書その他必要な図書を提出します。
- (2) 提出先  
下記問合せ先に同じ。
- (3) 提出部数  
A4 判製本で 10 部
- (4) 提出期限  
平成 29 年 4 月 14 日（金）まで
- (5) 募集件数  
数件
- (6) その他  
「公募型実証研究に関する規程」及び「公募型実証研究に係る受付審査料等に関する細目」をよく確認してください。

## 7. 受付審査

応募された実証研究は、受付審査料の支払確認後、水道技術研究センターが設置する「実証研究支援委員会」で支援対象としての適否を審査します。

## 8. 公募の詳細

詳細は、センターの下記ウェブページをご覧ください。

<http://www.jwrc-net.or.jp/chousa-kenkyuu/a-idea/info.html>

## 9. 問合せ先

公益財団法人 水道技術研究センター 調査事業部 石田、斉藤、松永

TEL : 03-3597-0214 FAX : 03-3597-0215 Mail : smart@jwrc-net.or.jp

---

### 配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までEメールにてご連絡をお願いいたします。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F

(財)水道技術研究センター ホットニュース担当 E-MAIL : [jwrchot@jwrc-net.or.jp](mailto:jwrchot@jwrc-net.or.jp)

TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。